



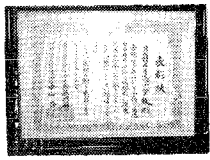
250袋の交通事故ナシ
あつという間に

去る九月二十一日水、交通安全協会月潟支部が主体となり、秋の交通安全の一環として夕方の帰宅ラッシュとなる五時半頃に、交通安全指導所を設置。

帰宅途中のドライバーに安全運転を呼びかけ、月潟農協さんから頂きました梨を、交通事故ナシとひっかけてくばるなど、約三分ほどで用意されていた梨二百五十袋（一袋二個入り）はあつという間になくなりました。日が大変短くなってまいりました、ライトは早目につけ安全運転をよろしくお願いします。

全教育活動に貢献したとして、同じく新潟県警察本部長・新潟県交通安全協会会長の連名で表彰を受けられました。

今後とも交通安全活動に御指導、御協力をお願いいたし



また月潟小学校に対しても多年にわたり積極的に交通安全



五十嵐賢治氏
月潟小学校に
交通安全表彰

多年にわたり交通安全活動を積極的に推進されて来られたとして、五十嵐賢治氏（月潟）に、新潟県警察本部長・新潟県交通安全協会会長の連名により、交通安全功労者表彰状と金一封が贈られました。

交通安全表彰

月潟小学校に

五十嵐賢治氏

関東大会を終えて
教頭 小野正也

八月二十二日の県大会終了直後から関東大会までの間、毎日夜おそくまで練習する生徒達、それをささえる周りの皆さんには大変な御苦勞であったことと思います。

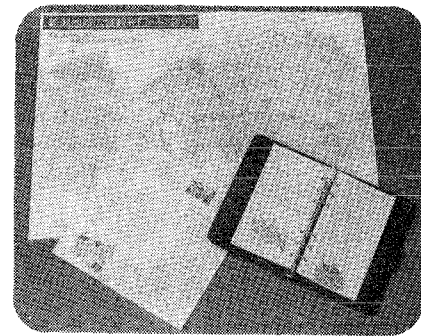
九月二十三日、関東大会の結果はすでに御承知のとおり銀賞という結果に終わりましたが、本校の演奏は全くダントツであったものの銀賞というのは今だに私自身、納得のい

ます。おめでとうございませ

■ 寄附金を頂きました

- 野沢 熊次郎さん（上曲通）香典返し10万円。
- 金子 善次郎さん（大別当）香典返し10万円。
- 大橋 正一さん（木漕）香典返し10万円。
- 木村 恭尚さん（上曲通）から10万円の寄附金を頂きました。

村のために役立ててほしいとのこと、有効に活用させていただきます。ありがとうございます。



越後にいがたふるさと紀行

新潟市を中心に、本村など18市町村で構成する新潟地域広域市町村圏協議会では、一越後にいがたふるさと紀行（新潟地域広域観光ロードマップ）を発行。縮尺10万分の1の広域図や、新潟市などの拡大図を掲載し、ドライブに活用して、と呼びかけています。別冊には温泉、スキー場、花、催し物などの観光情報が

ぎっしり 今流行のシステム手帳にとりごもでき、また、地図と別冊の一連番号で目的の地がすぐに探し出せるなど、随所に工夫がこらされています。

ただ今、このロードマップを無料差し上げています。※希望される方は役場まで、数に限りがありますのでお早めにどうぞ。

かなかったものでした。しかし、生徒達のさわやかな顔を見てすぐわかれた気持ちに帰りのバスの中はとてにぎやかでした。

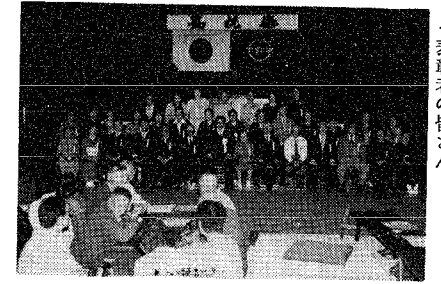
応援として七十一名もの皆さん、大変御苦勞さまでした

と同時に役員の皆さまにも心からお礼申し上げます。そして生徒達にはステキな一瞬をどうぞありがとうございます。三年生には、これからこの経験をステップにしていってください。

昭和63年度 敬老会

まだまだ元気!

村内最高は99歳・大橋ヨキさん
80才以上129名中 63% (82人女)



露され敬老会を盛り上げていただきました。

▲表彰者の皆さん

去る9月15日（木）午前10時30分から月潟小学校体育館において昭和63年度敬老会が開催されました。今年度の招待該当者は、72才以上の方（大正5年12月31日までの出生）、または、67才以上で一人暮らしの方で、三七一名が対象となられました。そのうち、約二五〇名の方が出席されました。

式典は、ダイヤモンド婚、金婚、90才の方に村長からのお祝い、喜寿、米寿、95才の方に県知事からのお祝い、また米寿の方には婦人会からのお祝いがされました。

式典後は保育園児、各芸能団体がお祝いに踊りや歌を披露

昭和63年度お祝い該当者

- ダイヤモンド婚（60年）阿部 賢治・シヅ夫妻 小湊 金治・スミ夫妻
- 金婚（50年）石川 与作・ヨ子夫妻 小林 廣司・トメ夫妻 土田 久一・カツ夫妻 小武内弥太郎・千枝夫妻 大橋 武雄・ヨイ夫妻 曾山 一郎・タマ夫妻 山坂 与松・シカ夫妻



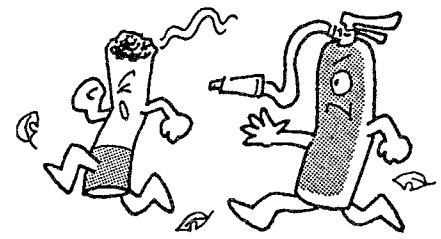
▲受賞者代表で謝辞を読む 曾山一郎氏

皆様の益々の御長寿をお祈り申し上げます。また、敬老会に御協力いただきました方々には、この場を借りまして感謝申し上げます。

- 95歳 青柳良太郎殿
- 90歳 野沢 トノ殿 間島 蕩維殿 児玉 フサ殿

田辺 春由・キヨノ夫妻 小林 金三郎・ヨシ夫妻

火の用心



「その火、その時、すぐ始末!!」

秋の火災予防運動

十月二十六日から十一月一日までの一週間、県下一斉に秋の火災予防運動が実施されます。

寒くなるにつれ、暖房器具を使用する機会が多くなり、すが、それに伴い火災の発生件数も増加してきます。

特に雪の多い新潟県では、洗濯物をストーブの上で乾かして火災になるケースが見立ちます。

火の取扱いに十分注意するとともに消火器具の備えつけや点検も忘れずに行ってください。

火の用心七つのポイント

- 一、寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
- 二、子供は、マッチやライターで遊ばせない。
- 三、風の強いときは、たき火をしない。
- 四、天ぷらを揚げるときは、その場をはなれない。
- 五、家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- 六、風呂の空だきをしない。
- 七、ストーブには、燃えやすいものを近づけない。

毎年十一月九日は 一一九番の日